

ほけんだより

山梨県立ろう学校

保健室

2021.4.29

お家の人といっしょに読もう♪

かんせんかくだいほ うしたいさく ～感染拡大防止対策をしよう～

楽しみにしていたゴールデンウィークが明日から始まりますね。引き続き新型コロナウイルスが全国的に流行しており、変異型の感染者が増加しています。

変異型は感染力が非常に強いといわれていて、感染すると重症になりやすいそうです。元気に楽しい連休にするためにも、感染症対策をしっかりとって過ごしてください。



れんきゅうちゅう まいにち けんこうかんさつ おこな 連休中も毎日、健康観察をしっかりと行いましょう！

感染症予防検温カードの記入のご協力、ありがとうございます。連休中も毎日かかすにしっかりと健康観察を行ってください。37度をこえる熱がある、せきやのどの痛みなどのかぜ症状がある、もしくは「あれ？いつもとようすがちがうかな？」と感じたときは、がまんせず、すぐにおうちの人に言いましょう。また、検査をするときは学校へ連絡をお願いします。



さいかくにん よろ 再確認！コロナウイルス予防をしよう

手あらい・うがい

ウイルスがついているところを触ると、自分の手にもウイルスがつきます。その手で食べ物を食べたり、顔まわりをさわると、体の中にウイルスが入ってきてしまいます。水だけでなく、せっけんを使ってしっかりと洗いましょう。合わせて、うがいもしましょう。



すいみん

体や心のつかれをとるのはもちろん、ぐっすり眠ることで、体や筋肉を作ったり、免疫力（病気とたたかう力！）を高めたりするはたらきをもつ、「成長ホルモン」がたくさん出ます。連休中も、早ね早おきを心がけましょう。



ちやくよう マスクの着用

マスクは、鼻や口にウイルスが入るのを防いでくれます。それだけではなく、せきやくしゃみから出るウイルスを外に出さないため、ほかの人への感染を防ぐこともできます。また、のどの乾燥を防いで、のどと気管をウイルスから守ってくれます。

かんき 換気

ウイルスはしめきった「むんむん」したところが大好き。部屋の空気を入れかえることで、空気中にふわふわただよっているウイルスを外に出すことができます。

また、新しい空気を入れることで、気分もすっきり、リフレッシュできます。



保護者の皆様へ

新型コロナウイルス感染症対策

～「新しい生活様式」を踏まえた家庭での取組～

新型コロナウイルス感染症から子供たちを守り、お子様が安心・安全な学校生活を送ることが出来るよう、ご家庭においても「新しい生活様式」を踏まえた取組にご協力をお願いします。

1 毎日の健康観察

- ・毎日、登校前にお子様の健康観察（発熱や風邪症状の有無の確認）を必ず行う。
- ・発熱等の症状がある場合は、自宅で休養させる。
- ・感染がまん延している地域は、学校からの依頼に基づき、同居のご家族に発熱等の風邪症状がみられる場合には、登校を控える。



2 手洗いの励行

- ・家に帰ったらまず手や顔を洗う。
- ・手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う。
(手指消毒薬の使用も可)



3 咳エチケットの徹底

- ・咳、くしゃみをする際、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえる。



4 3密の回避（密閉、密集、密接）

人と集まる時や外出する際は、次のことに気を付けてください。

○「密閉」の回避

- ・こまめな換気

気候上可能な限り常時行い、困難な場合はこまめに（30分に1回以上、数分程度、窓を全開する）、2方向の窓を同時に開けて行う。

○「密集」の回避

- ・身体的距離の確保

飛沫感染を防ぐため、できるだけ人と人との距離を確保すること。

○「密接」の回避

- ・マスクの着用

外出する時は、できるだけマスクを着用する。ただし、気温や湿度が高く、気分が悪い場合や、熱中症になりそうな場合には、マスクを外す。

室内でも家族以外の人と交流する際はマスクを着用する。



5 抵抗力を高める

免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動やバランスの取れた食事を心がける。



★ 学校生活の中でいかに感染防止を徹底しても、仲の良い友人同士や家庭間の行き来や家族ぐるみの交流を通じて感染が拡大してしまうと、学校全体の教育活動が出来なくなってしまうことがあります。特に会食の際には、対面を避けるなど、「新しい生活様式」を参考にして工夫していただき、感染が広がらないようにご配慮をお願いします。